

# 「なぜ大学で学ぶのか」

## 大学教員に問う

メッセージ全文は  
QRコードから



大学で学ぶ最大の目的は「自分を発見する」  
ことにあります。数十年後に自分がどうな  
りたいかを考え、そのために努力をするの  
が、大学。良い成績で卒業することが大事な  
わけではありません。しっかり自分探しでき  
たかどうかが問われます。

法学部  
法律学科  
副学長・教授 池田 眞朗



将来像を明確にイメージして目標を設定し、  
自ら主体的に努力すること。そうした社会  
人として自立するために必要なことを修得  
するために、大学で学ぶのだと考えます。も  
ちろんそれは勉強だけではなく、クラブ活  
動や留学でも構いません。

経営学部  
会計ガバナンス学科  
教授 船越 洋之



「学ぶ」とは「まねる」こと。大学の教員はそ  
の道のプロですから、その知識や考え方を積  
極的に吸収してください。大学での学びは自  
由です。何を学ぶも、広く学ぶも、資格のた  
めでも、人と違う学びをするのも自由。ぜひ  
楽しんでください。

人間科学部  
人間科学科  
講師 日野 慧蓮



“Is it really true?”(それは本当か?)と批  
判的に考える。“Why?”(なぜそうなのか?)  
を探索する。そして、考え抜いたアイデア  
を効果的に伝える方法を工夫する。こうし  
た学びが未来を切り開く力となります。

グローバル学部  
グローバルコミュニケーション学科  
准教授 石黒 武人



大学で学ぶことは、いろんなものについて考  
え、そこから未来に向かって歩む明るく幅の  
広い道に気づかせてくれる機会を持つこと  
です。そのためには、好奇心を持つこと、物  
事の考え方の通筋や仕組みの理解に重きを  
置く学びが大事です。

工学部  
数理工学科  
教授 高石 武史



みなさんは高校まで「すでにある知識」を  
学んできたことでしょうか。大学では、自ら  
「課題を見出し」「その課題の事実を明ら  
かにし」「その課題の処方箋を描く」ことを  
学びます。大学の学問は多様ですが、「課題  
を問い続ける」ことは共通です。

人間科学部  
社会福祉学科  
教授 熊田 博喜



大学で学んだ知識は、10年後には役に立た  
ない。そう聞いたらショックですよね。でも  
世界は絶えず変化しているの、いずれそ  
うなるかもしれない。だから、生涯学び続  
けることが大事です。そのための「姿勢」を、  
学問に向き合うことで養います。

経営学部  
経営学科  
講師 新津 泰昭



無意識に学んできたことに「なぜ?」と目  
を向け、謎が解けたら心底感心して「へえ  
~」と言っている自分に気づく。大学はそ  
んな知的好奇心を満たす「知」へ誘うステ  
キな空間です。単なる知識の詰め込みとは  
異なる自由な学びが、ココにはあるのです。

グローバル学部  
日本語コミュニケーション学科  
教授 村澤 慶昭



専門的な学びを通して、それまでの自分  
には見えなかったことが見え、世界がまる  
で違ったものとして見えてくる。この驚きと  
喜びに満ちた世界の再発見こそが大学で  
学ぶ醍醐味の一つです。誰かの答を待たず、  
学ぶ意味を自分から見出して下さい。

文学部  
日本文学文化学科  
教授 三浦 一朗



「大いに本を読もう。しかし書かれている  
ことを鵜呑みにするな」といつも学生に  
言っています。「なぜそうなのか」を常に考  
え、疑問を持ち、そこに至る過程を探究し  
てほしいからです。未知数の可能性をどれ  
だけ伸ばせるか、それが大学での学びです。

教育学部  
教育学科  
教授 廣瀬 裕之



Should young adults be trained for jobs, to  
serve the sociopolitical aspirations of a nation,  
or for personal growth, satisfaction, and  
transformation? Universities offer a broad  
range of paths, and you can find diverse  
opportunities for your future.

グローバル学部  
グローバルビジネス学科  
教授 David Tedone



大学の学びでは、経験と理論を行き来しな  
がら考えを深めていく。「正解がない」「答  
えは一つではない」という問いを探索する  
過程で探した「大事にしたいい感覚や信  
念、目指す方向」は、あなたが人生で迷った  
時に導いてくれる羅針盤となる。

教育学部  
こども発達学科  
教授 義永 睦子



先のことはわからない? 本当でしょうか。  
後になって考えるとそこにはヒントがあっ  
たはず。大学で学ぶ価値はまさに「少し  
先のこと」を学ぶところです。ヒントを必死  
になって掘めるかが、卒業後の少し先の将  
来に大きく影響するでしょう。

工学部  
建築デザイン学科  
准教授 金 政秀



学ぶ意味、生きる意味、働く意味。大学とは、  
まさにそうした「意味」を考える場なのです。  
試験のための学びでは、合格したらそれで  
終わりです。学びが本当に身につくために、  
様々な知識を受信できるアンテナを高く張  
り巡らせて下さい。

経済学部  
経済学科  
教授 齋藤 英里



「私は何を知っているのだろうか? (クセジュ)。  
私たちは限られた知識しか持たず、多くの  
ことについて無知だ。そうした無知を自覚し、  
知識を少しでも広げようと悪戦苦闘し、  
視界がぱっと広がる経験をする、それ  
こそが大学での学びである。

教養教育・哲学  
教授 一ノ瀬 正樹



学問を追究するためである。学問の本質は、  
対象に存在する未知を明らかにすることで  
あり、そのプロセスは実社会における様々  
な営為と全く同種だといえる。学問の追究  
を通して、社会で必要となる創造力・問題解  
決能力を学ぶのである。

法学部  
政治学科  
講師 山崎 新



私はもともと電気に興味があり大学に進学  
したものの、そこで薬学と出会い、大きく進  
路を変えました。将来を決めるタイミングや  
きっかけは人それぞれです。大学での多岐  
にわたる学びや人との出会いは人生の大き  
な財産になるでしょう。

薬学部  
薬学科  
教授 堅田 利明



A university is not only for the education. But  
the environment where you can learn and  
explore without worrying about risks. Friends  
and instructors encourage our creativity,  
individual and networking. This is very  
important for our future professional path.

データサイエンス学部  
データサイエンス学科  
教授 Thatsanee Charoenporn

